

広告

〈企画・制作〉
日本経済新聞社 クロスメディア営業局

大賞
(料理部門)

つくおき 週末まとめて作り置きレシピ

著／nozomi 1,404円(税込)



週末にちょっと頑張って、平日をラクにしませんか。「なす南蛮」や「えだまめひじきの鶏団子」「キャロットラペ」「簡単チャプチェ」……といった1週間のおかずが150分で完成します。手際よく調理するためのタイムスケジュールとともに、作業工程がひと目でわかる調理の過程を写真で紹介しています。和・洋・中の全レシピに加え、調理時間の目安・使用調理器具・食材の費用を記載。時短・簡単・節約効果大です！

【光文社】

〒112-8011 東京都文京区音羽1-16-6 TEL 03-5395-8102(直売係)
<http://www.kobunsha.com/>

入賞
(料理部門)

たっきーママの簡単作りおきと時短おかずで朝すぐ! 弁当

著／奥田和美(たっきーママ) 1,296円(税込)



月間200万アクセス超えのカリスマ料理ブロガー、たっきーママが、忙しい朝超短時間で見栄えの良いお弁当を作るために持てるテクニックを総動員。作りおきおかずを活用し、加熱時間3分以内のおかずも多数紹介。電子レンジやフライパンを駆使して作る超実践的なお弁当レシピ集です。

【扶桑社】

〒105-8070
東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング10F
<http://www.fusosha.co.jp>

■料理レシピ本大賞 in Japan 受賞一覧

- 《料理部門大賞》
▶ **つくおき 週末まとめて作り置きレシピ**／nozomi(光文社)
《料理部門準大賞》
▶ **食品の保存テク**／徳江千代子 ※監修(朝日新聞出版)
▶ **一日がしあわせになる朝ごはん**／小田真規子 大野正人(文響社)
《料理部門入賞》
▶ **帰ってから作れるおかず200**(オレンジページ)
▶ **手間をかけずにこの「ほめ言葉」が聞こえるレシピ**／小田真規子(文響社)
▶ **おふくろの味 定番100**(NHK出版)
▶ **よくばらない。やり過ぎない。これだけで、ラクうまごはん**／瀬尾幸子(新星出版社)
▶ **決定版!週末作って毎日簡単!作りおきのラクうまおかず350**／平岡淳子(ナツメ社)
▶ **ほっとくだけで味が決まる 漬けたら、すくおいしい!**／堤人美(講談社)
▶ **たっきーママの簡単作りおきと時短おかずで朝すぐ! 弁当**／奥田和美(扶桑社)
▶ **夫もやせるおかず 作りおき**／柳澤英子(小学館)
▶ **いまはなき名店に学ぶ!まぼろしカレー**／水野仁輔(地球丸)
《料理部門ママ賞》
▶ **女ひとりの夜つまみ**／ツレツレハナコ(幻冬舎)

読者
プレゼント
実施中

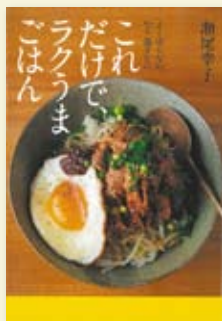
本企画に関するアンケートを日経アドネットにて実施中! アンケートにご回答いただいた方の中から、抽選で25名様に掲載書籍をプレゼント。

日経アドネット 検索 <http://adnet.nikkei.co.jp/>

入賞
(料理部門)

よくばらない。やり過ぎない。これだけで、ラクうまごはん

著／瀬尾幸子 1,296円(税込)



「ゆでるだけ」「炒めるだけ」材料もこれ「だけ」…。毎日のうちごはんは気楽な「だけ」料理が幸せ。下ごしらえも、調味料も、ほんとにこれだけでいいの?と、簡単においしくできる料理のコツを丁寧に紹介! 素材そのままに、旨み際立つレシピ集です。

【新星出版社】

〒110-0016 東京都台東区台東2丁目24番10号
TEL 03-3831-0743
<http://www.shin-sei.co.jp/>

ママ賞
(料理部門)

女ひとりの夜つまみ

著／ツレツレハナコ 1,296円(税込)



人気食ブロガー・ツレツレハナコ初の本。ママだって飲みたい! そんな夜はもちろん、家族みんなで楽しめる絶品レシピが満載。「10分で飲みたい!」「材料は少ないほどうれしい」「1回作って3回飲もう」「シメタンの誘惑」などお酒好きの心をくすぐる章立ても魅力です。

【幻冬舎】

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-9-7
TEL 03-5411-6222
<http://www.gentosha.co.jp/>

大賞
(お菓子部門)

魔法のケーキ

著／荻田尚子 1,404円(税込)



一見、普通のケーキ生地が、焼いてびっくり、3層の豪華なケーキに! フランス発の不思議なお菓子「魔法のケーキ(gâteau magique)」の本邦初のレシピ集です。発売直後からネットやTVで話題となり、一大ブームを巻き起こしました。美しい写真、親切な解説も好評です。10万部。

【主婦と生活社】

〒104-8357 東京都中央区京橋3-5-7
TEL 03-3563-2065
<http://www.shufu.co.jp/>



～食は本能の言葉! 文字は心の叫び～

手軽においしく家ごはん
実力派レシピ本15冊

開催3回目を迎えた「料理レシピ本大賞 in Japan」。料理やお菓子を「家庭でもおいしく作れる本」という視点で選考する同賞は、読者の信頼も厚く、過去2回の入賞作の多くがロングセラーや続編発行につながるなど反響を呼んでいる。さて、気になる今年の入賞作は――。

「料理レシピ本大賞」が発表された。今年の料理部門の大賞は、人気の料理ブログを書籍化した『つくおき 週末まとめて作り置きレシピ』(光文社)。「つくおき」とは「作り置きおかず」の意味。休日などに数品の総菜をまとめて作っておくことで時間のない平日も帰宅後すぐに食べられる、いわば常備菜の進化系だ。

この大賞作に限らず、入賞タイトルには「ラクうま」「ほっとくだけで味が決まる」「時短」など時代を表すキーワードが目立つが、単に売れた本や話題作が選ばれるわけではない。料理研究家やシェフ、年間数百冊の本に目を通す書店員ら、料理と本をこよなく愛する選考委員が「家庭での作りやすさ」「おいしさ」「手順の分かりやすさ」などキッチンに立つ人の目線で審査。過去の入賞作の多くがロングセラーになっているこ

とからも、手に取った人の満足度、口コミの広がりうかがえ、実力派ぞろいのラインアップと期待している。過去1年間の刊行本を対象に今年度は料理部門123タイトル、お菓子部門20タイトルがエントリー。お菓子部門では『魔法のケーキ』(主婦と生活社)、『まいにちおやつ』(KADOKAWA)の2冊が大賞に輝いた。

さらに、今回は料理部門に「ママ賞」を新設。現役ママの支持を最も集めた1冊は『女ひとりの夜つまみ』(幻冬舎)。忙しい1日を終え、子どもと夫が寝静まったひと時が自分の時間――日々を奮闘する彼女たちのそんな本音が聞こえてくる正直でタフなセレクトに共感する女性も多いのでは。同賞関連フェアは今年も全国書店で開催予定。食欲の秋、良質のレシピ本で「家ごはん」をもっと楽しもう!